

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	全職員が目を通す場所に理念を掲示し、常に意識ができるようにしている。また、職員会議やケアプラン作成時等、理念を念頭にしたケアを心掛けている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域向けの広報誌の発行や、地域の集まり(秋桜会)に参加させていただき、活動ができるように交流を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍を経て、徐々に外部との交流が求められている。しかし、事業所としては感染対策を講じながらも、外部交流をすすめるにはいけないという現状があり、簡単ではないと考える。</li> <li>・報告があり、日頃より地域との繋がりが重要と痛感した。</li> <li>・地域との繋がりを大切にしながら運営されていると思う。</li> </ul>		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	対面での会議に加え、対面参加できないご家族へもリモートでの参加や書面でご意見が伺えるように会議を開催している。頂戴した意見を職員間で意見交換しサービス向上に活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍を経て、紙媒体のデータ化、オンラインでの参加など、情報管理や収集は、ある意味対応しやすくなったとも考える。</li> <li>・しっかりと会議を開催されている。</li> <li>・運営推進会議を定期的で開催しており、他施設より活動的に活動している。</li> </ul>		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月に一度、入居状況の報告や札幌市の集団指導へ参加している。また、地域包括支援センターから運営に関する意見を伺い、空室状況の情報交換をおこなっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて市町村窓口との相談や連絡はできていると考える。必要以外に連絡はおこなっていないのが現状だと考えるし、市町村から例えば利用者のケアなどに具体的なアドバイスを受けた事例は皆無だと考える。</li> <li>・このまま継続していただきたい。</li> <li>・十分にできていると思う。</li> </ul>		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者を含めた菜の花全館の管理者会議にて、3ヶ月に1回身体拘束適正化委員会を開催。管理者がその内容を全職員へ伝達し、共有を図っている。また年2回以上の身体拘束の研修を実施し研鑽に努めている。※5月、8月、11月、12月開催2月(予定)		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・定期的に委員会を開催し、身体拘束をしないケアを実施し、取り組みをおこなっている。また、それらを運営推進会議の場で報告し、ご家族の理解を得ている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者を含めた菜の花全館の管理者会議にて身体拘束等適正化委員会と共に3ヶ月に1回虐待防止委員会を開催している。またユニット会議にて、虐待に関する定義や虐待防止のための方策についてNo5項目と合わせ年2回以上の研修を行い、防止に努めている。※5月、8月、11月、12月開催、2月(予定)		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・定期的に委員会を開催し、虐待をしないケアを実施し取り組みをおこなっている。また、それらを運営推進会議の場で報告し、ご家族の理解を得ている。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年度ごとに研修スケジュールを作成し各研修をおこなっている。当該研修は3月を予定している			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時は法人における営業担当者が書類をもとに口頭にて契約内容や解約手順を説明している。また管理者も同席し、疑問や不安等があれば、都度対応している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	相談窓口の設置、運営推進会議等苦情や意見や要望を口答や書面にて、いつでも表せるようにしており、その内容を運営に活かしている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・運営推進会議、面会等、意見や要望を表せる機会、方法は複数用意されている。加えて、頂いた意見を反映できるように取り組みもしている。	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者は定期的に個人面談を実施し、職員からの意見や提案を日常的に聞けるようにしている。それらを毎月の法人内管理者会議にて、代表者へ伝えている。また、直属以外の窓口へ相談ができるよう各相談窓口を設置している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人として各自が向上心を持ち就業できるよう人事考課システム制度を導入。勤怠管理システムを導入し業務のICT化を進める等の環境整備をおこなっている。事業所においては、風通しの良い働きやすい職場となるよう環境を整えている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・各方面で就業環境の整備をおこなっており、離職率低下に繋がっている。人材確保はできているが、介護職員の不足が取り沙汰されている中で、不安を感じているご家族もいる。今後も取り組みについて継続して伝えていく必要がある。	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月の職員会議で各研修を実施しているのに加え、個々の実績、力量、意欲に応じ、法人負担で資格取得の支援、法人外での研修参加をおこなっている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・各職員が法人外の研修を受け、研鑽を積むことができている。しかし、項目11同様。ご家族に伝わり切っていない部分がある。	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	同区の管理者連絡会への参加、他グループホーム管理者へ外部評価を協力していただくなど、同業者とのネットワークを通じサービスの質を向上させていく関係づくりをおこなっている			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常生活において、入居者様と一緒に過ごすことを大事にしている。レクや行事以外でも一緒に作業をしたり、会話をしたり共に過ごす関係性を築いている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍により、面会等に制限はあるが、対面での面会支援やお墓参りへの同行支援等、馴染みの関係継続がおこなえるように柔軟に支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙や、職員が介入して取り組んだラインでの動画や画像送信など、外出や対面での面会に限らない取り組みや、代替となるよう活用した事例があると考える。</li> <li>・感染症の制限がある中で十分に支援していると思う。</li> </ul>		
<b>Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症の症状より直接意向が聴けないことが多いが、生活歴や暮らしの情報シートを参考にし、現状と照らし合わせつつ関わりを持つことで、意向の把握に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	アセスメント、ケアプラン作成は複数人が関わり作成することで色々な視点より作成できるようにしている。また、ケアプラン作成後、職員会議で協議をすることで、より現状に即したケアプランが立案できるよう取り組みをおこなっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスや会議に限らず、日頃からの何気ない関わり、介護記録、医師からの所見など、様々な観点からもアセスメントに活かされていると考えられる。</li> <li>・ケアプランを見ていると細かいところまで支援して貰っていることが分かる。</li> <li>・意見は十分に汲んでもらっている。</li> <li>・ご本人に合ったケアプランを作成していると思う。</li> </ul>	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・意向の確認から始まり、チームで協議することで現状に即したケアプランを作成し、ケアマネジメントサイクルをおこなうことができている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個別記録には日々おこなっていること、ケアプランのサービスの他に、その時の様子(入居者様の言動)を記載し、介護計画や職員間の情報共有に活かしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・十分にできていると思われるが、今後も日々の変化を捉え、しっかりと反映できるようにしてください。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍により面会や外出は制限をおこなっているが、その中で入居者様が楽しめることを既存のサービスに捉われず立案、実施している。今年度はお墓参りの同行支援等をおこなっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT技術の活用が身近になり、例えばスマートフォンやタブレット、中でもアプリの活用などもケアに柔軟に取り入れられていると考えられる。こういった取り組みも多機能化と言えると考えられる。</li> <li>・十分に出来ていると思う。</li> <li>・いろいろな取り組みをありがとうございます。</li> <li>・誕生日の手作りケーキを持ち込めるよう配慮してもらえたことが嬉しかった。</li> </ul>		・コロナの影響がある中で、できることへの模索から実施まで色々な支援をおこなうことができている。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍のため、地域資源の活用はほとんどできずにいるが、病院受診の際に介護タクシーを利用できるようにするなど準備はおこなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報や回覧板などの閲覧や、紙面からの情報を何気ない関わりやケアに活かすなども、地域資源の活用ができていると考えられる。</li> <li>・コロナ明けとなり、検討はこれからに期待します。</li> <li>・必要時、地域資源を活用できたらと思います。</li> </ul>		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	他科受診においては、ご家族とホームが協力し受診している。往診医に関しては、ご本人が訴えられないことが多いため、日々の様子や変化を主治医に伝え適切な医療が受けられるように支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	体調不良にて入院した際は、病院関係者と密に連携を図り、早期に退院し受け入れができるよう働きかけをおこなっている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・連携を密に図ることで、適切な入院期間で退院ができるよう準備することができている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化した場合や終末期のあり方について、ご本人とご家族に意思確認を今年度改めておこなっている。重度化した場合は、主治医とご家族も交えて、話し合う機会をもち、方針を共有できる機会を設けている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・今年度の取り組みにより、ご家族、医師、ホームとの共有が充分におこなうことができている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	緊急時対応についての研修を実施し、フローチャートは、各職員が良く目にする場所に掲示している。また実際の緊急時には、役割分担を定めて、初動から対応できるようにしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	避難訓練(昼夜別想定)の火災、地震を実施している。また、実際に発生した際には、近隣の方にも避難の協力を得られることになっており、避難場所等も決まっている。先の災害を教訓に災害備蓄の見直し、BCPの策定、照明等を追加準備している。	・例えば垂直避難や、意図して避難所に逃げず堅牢な施設にとどまる、地域の方々を逆に避難所として受け入れるといった、緊急時には臨機応変な対応ができる柔軟な施設であると考えられる。 ・地域との協力体制を築いており、充分に対策されていると思う。 ・このまま継続願います。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・避難訓練を始め、対策を充分におこなうことができている。災害に対しては、いつ起きてもすぐに対応できることが求められる。今後も継続してください。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その方に合った声掛けをおこなっている。虐待や不適切なケアが発生しないように定期的に研修をおこなっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・一人一人の状態に合わせた個別のケアの実施がなされている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その日の体調や気分に合わせて可能な限り、食事の時間や入床、起床等、可能な限り、その方のペースで暮らすことができる支援をしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一緒に準備や片付けをすることは入居者様の生活動作上において難しいが、行事の際は季節感のある食事やリクエストに応える等、食事を楽しむことができる支援をしている。また、ともに手作りの料理を提供し調理の段階から食事の雰囲気を感じることができるよう配慮されている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・ホームでの調理をはじめ、季節を感じることができる食事等、楽しむことができるよう配慮されている。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ミキサー食などの食事形態について医師や看護師と相談し、適した形状で提供している。また6ヶ月に1回口腔・栄養スクリーニングを実施し、状態を確認している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後、声掛けや誘導、介助をおこなっている。拒否がある時は、時間を変更して対応を行ったり、口腔ガーゼを使用したりと工夫している。また6ヶ月に1回口腔・栄養スクリーニングを実施し、状態を確認している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・訪問歯科との連携、口腔スクリーニング等、口腔状態の維持に関し、しっかりとした取り組みがおこなえている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄パターンをふまえて声掛けをし、排泄の失敗が減る様に対応している。また、水分摂取や運動を取り入れるなど、薬に頼らない便秘の予防もおこなっている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・画一化する事なく、個別での対応ができています。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	浴槽に入る方、シャワー浴のみ希望など個々の希望に合わせて必要に応じて2名対応で介助する等、入浴が楽しめるよう配慮している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食後は何処で過ごしたいかなどをご本人に確認、意思表示が難しい方に対しては、その日の体調や表情などから推察し、リビングや居室など意向に沿った場所で休んでいただけるようにしている。また、就寝時間は自由で、寝具も季節や体調に合わせて安眠できるように配慮している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	処方薬の情報はいつでも職員が確認できるように保管されている。症状の変化について状態を記録し、医師へ情報提供、治療に活かしている。また、服薬ミスが起こらないように服薬支援システムを導入している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・ご家族と協力しながら支援をおこなうことができています。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症症状より意思をはっきりと表出することが難しいため、生活歴より模索し、楽しみごとや気分転換がその人らしくおこなえるよう支援している。			・職員の一方向的な関わりや、目に見えた物理的な結果がある取り組みにより、利用者主体の物差しで関わることができている施設であると考えられる。 ・ご本人に手伝ってもらうことで2度手間になると思うが家事に参加させてもらっているようでありがたいです。 ・ありがとうございます。 ・ご本人の生活歴を考慮しながら支援されていると思います。

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input checked="" type="radio"/> ほとんどできていない	コロナを考慮し、人の密集している空間は制限しているが、コロナ禍でも楽しむことができるように企画を立案、実施し、敷地内でのパーベキューやドライブスルーの利用などをおこなっている。	・利用者にとっては外出自体が心身負担となるケースもあり、利用者本位で、例えば玄関先での気分転換など身近な場所で、さりげなく支援していると考えられる。 ・敷地内で楽しめるように充分工夫されていると思う。 ・特に外出しなくともパーベキューやクリスマスなどで充分楽しんでいるようなので現状で満足しています。 ・花が好きなので花見に行けたら良いなという思いがあります。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は行事で買い物がある際、ご本人で支払うこともあったが、現在は屋外に出る機会はあるが、お金を使用する機会はなく支援はおこなえていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	自ら電話することは認知症症状より難しいが、ご家族からの入電時や、職員が電話をする際に、取り次ぎをおこない、ご本人と話す機会がある。また、その方の生活リズムを事前に伝えて、より良い状況で話ができるように心掛けている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	移動の際に危険がないよう、環境整備をおこなっている。また季節の装飾を施し、季節を感じて居心地良く過ごせるように工夫している。また、一人一人の空間が持てるようにリビングでも休息ができる場所も設けている。	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日々の報告や菜の花新聞により、安全への配慮をしつつも、落ち着いた、季節を感じる事の出来る空間を作り、居心地よく過ごせるような工夫がなされている。	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活や生活歴等により思いを汲みとり、意向に沿った支援ができるよう心掛けている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際に様々なツールを用い、情報を取得し、その方に合った支援がおこなえるように心掛けている。また、それらのツールの更新を定期的におこない、日々の支援に役立てている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の健康管理を中心に、状態変化があった際には、早急に医師と連携を図り、必要な医療が受けられる体制を整えている。体調不良の訴えが難しい際でも、職員が間に入ることで適切な医療が受けられるよう支援している。	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・体調不良があった際には、医師と連携を図り、適切に医療が受けられる事ができている。また、ご家族も一緒に参加することができている。	

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームの流れに捉われず、休息やテレビをみるなど、意思確認の基、生活が送れるように支援している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室内には馴染みの物やご家族の写真、ホームでの思い出等、居心地良く過ごせるように配慮している。また、入居時に説明をおこない、馴染みの物が身近に持つことができるように支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・馴染みの物等を身近に置くことができている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	制限下ではあるものの、ご家族と協力をして可能な限り催事等にも参加ができるよう支援している。	・利用者個々の思いや意思をくみ取り、周囲の援助者が画一的で一方的な取り組みにならないよう関わっていると考えられる。 ・姉の葬儀に参列できるようにしていただき、大変感謝している。 ・ありがとうございます。 ・家族様と協力しながら十分に支援されていると思う。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントを複数の視点から実施し、出来ること、出来ないことなどを見つけ出し、ケアプランに反映、ご本人が居心地よく生活ができるよう支援をおこなっている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントを基に、入居者様それぞれが活動できるよう、できることを職員と一緒にこない、いきいきと過ごせるように支援をおこなっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・認知症の進行がある中でも、できることへの模索、支援をおこなうことができている。今後も継続して欲しい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍より、地域、町内会の集まりへの入居者様の参加は見送っているが、交流が途切れないよう、ホームと地域のつながりを継続している。	・以前は社会的な人柄であったとしても、現在のご本人が外部との関わりを苦手とする事例もあると考える。そういった心理にも配慮して支援していると考えられる。 ・コロナ禍による制限がある中で、模索しながらも十分にされていると思う。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出や面会の制限など、コロナの影響がまだ残る中で、できることを支援することで入居者様より「ここにきて良かったよ」「ここだと安心だからね」「あんたたちは本当に良くやってくれるからね」等、言葉をいただいている。今後も入居者様がより良い生活が送れるように支援をおこなっていく。	・家族からも「感謝しています」「助かっています」とご本人の代弁となる言葉も多いただろう。決して本人だけに限らず、とりまく環境が穏やかに経過しているホームであると考えられる。 ・他の施設に比べ安心できる。 ・日々、ご本人の為に良い支援を提供されていると思う。 ・本人は安心して施設で過ごせていると思います。引き続きよろしく願い致します。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・菜の花しのろ館は、工夫をすることで色々な取り組みができている。そのため、認知症の症状がある中でも穏やかな時間を過ごすことができていると思う。今後も継続して取り組みをおこなって欲しい。